

# 魔鏡

## 伝統文化の源流に触れる

主催：社団法人老人文化会議

2013年

10/14 (祝)

■12:30～受付 ■13:00～開始

■15:30 終了予定

■会場：大阪国際交流センター  
小ホール

□住所：大阪市天王寺区上本町  
8丁目2番6号



●最寄駅：近鉄「大阪上本町」駅下車  
南へ徒歩5分  
地下鉄「谷町九丁目」駅もしくは  
「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅下車  
徒歩10分

※詳しくは会場ホームページをご覧ください。  
<http://www.ih-osaka.or.jp>

●参加無料(事前に下記までお申し込みください)

●主催・連絡先／社団法人老人文化会議  
TEL:06-6444-2777  
山本:080-5340-3812  
竹内:090-3839-8457

### <第1部> 映画上映会「魔鏡」をつくる



講師：  
山本 富士夫氏

この映画は、今を去る40年前に、日本で開催された国際学会である世界科学史会議において発表するために、時の東京大学教授、渡辺正夫先生によって企画、製作されたものです。映画では、明治政府の招きにより来日した外国人教師たちが、自ら教鞭をとる傍ら、見知らぬ国日本についていろいろと調査、研究をした歴史を紹介し、その中でも日本古来の青銅鏡の一つで不可思議な現象を有する「魔鏡」にスポットライトを当てた調査、研究、解析が紹介されています。

映画では、京都在住の伝統鏡師、山本風龍一家の「魔鏡」製作の現場が収録されました。「魔鏡」の製作が収録されるのは、これが初めてでした。伝統文化と自然科学のそれらは相反するようですが、それぞれが時代の中で生きてきた証であります。映画の上映後、山本富士夫氏による「魔鏡」のお話を伺います。併せてお楽しみください。

1949年生まれ。同志社大学法学部卒業後、無形文化財記録保持者、山本風龍に師事。伝統的な青銅鏡製作を日本で唯一継承し創作活動に励んでいる。

### <第2部> 邦楽演奏を聴く



筑前琵琶：高橋 旭妙氏

筑前琵琶 橘流 日本橋会 師範  
8歳より故矢吹旭津美に師事。琵琶界で唯一の人間国宝、故山崎崎翠に師事。現在は日本橋会大師範、奥村旭翠に師事。  
平成11年に第5回くまもと全国邦楽コンクール優秀賞の受賞を皮切りに、平成13年に日本橋会競演会審査員特別賞を、平成17年に第42回琵琶楽コンクール1位、文部科学大臣奨励賞、日本放送協会会長賞を受賞。  
NHKFMラジオ番組「邦楽のひととき」において、平成20年7月には「湖水渡」、平成22年7月には「鴨川の露」、平成24年12月には「都落ち」を演奏する他、京都、大阪を中心に演奏活動を行っている



長唄：杵屋 輝久次氏

幼少より伝統文化に興味を持ち、日本舞踊、長唄、小唄の世界へ。小唄で土筆民弥、長唄で杵屋輝久次の名を許される。  
1982年、長唄「輝久次会」を結成し、現在まで23回の演奏会を催す。1993年、文化交流でカナダへ、その他歌舞伎座、京都上七軒歌舞練場等、多種多様な所へ出演。関西長唄協会、奈良芸協での定例演奏の他、ロータリークラブでの講演等、大阪、奈良、堺、伊丹、高槻の以上五か所において指導をしている。

## <第2部> 邦楽演奏を聴く

その一 筑前琵琶  
演奏曲 平家物語関連  
那須余與市

その二 長唄  
演奏曲 春秋  
春 櫻花の巻「風の曲」  
秋 紅葉の巻「雨の曲」  
唄 杵屋輝久次  
松永和三千保  
三味線 稀音家六三土里  
杵屋輝久世

### 合方

※合方とは曲中の唄なしで  
長い三味線の手の続く部分のこと  
「秋の色種」より虫の合方  
「都風流」より新内の合方  
「勸進帳」より滝流しの合方  
三味線 杵屋輝久次  
杵屋輝久世  
上調子 稀音家六三土里

### 日本舞踊

長唄「藤娘」より潮来出島  
立方 花柳寿々香助